

# PAZ LETTER

パース レター



Vol.03

Jul. 2026

【特集】嚥下調整食の共同開発プロジェクト

群馬パース病院 × 群馬パース大学

栄養科 管理栄養士

八木 卓

リハビリテーション学部 言語聴覚学科

酒井 哲郎

- ・ 看護師、管理栄養士による熱中症対策
- ・ 地域を支える群馬パース病院の仲間たち 『介護老人保健施設 武尊荘』
- ・ 病院のイベント情報

おいしい笑顔  
すべての人へ。  
病院と大学の共同開発  
プロジェクト！

群馬パース病院  
×  
群馬パース大学

## 科学的根拠に基づいた 嚥下調整食への挑戦

当院の栄養科では、超高齢社会や慢性期医療のニーズに応えるため、独自の工夫を凝らした食事作りに取り組んでいます。今回は、栄養科の八木科長と酒井先生に、これまでの歩みと未来への挑戦についてお話を伺いました。

### POINT 01

美味しさと栄養を両立する  
「加水ゼロ式調理法」の導入と地域連携

まず、当院の栄養科の特徴と取り組みについて教えてください。

**八木** 当院は「日本一の慢性期病院」を目標に掲げ、地域の高齢者医療の一翼を担っています。入院患者さんの平均年齢は88歳と高く、嚥下（えんげ）障害を持つ方が多くいらっしゃいます。

そのため、栄養科では2022年から栄養価が高く美味しい「加水ゼロ式調理法（主菜・副菜をミキサー粥で攪拌してミキサー食を作る調理法）」の導入に最も力を注いできました。

また、「日本摂食嚥下リハビリテーション学会嚥下調整食分類2021」に沿って可視化した「食事形態マップ」を利根沼田地域で先駆けて作成・発信したところ、現在は地域の6病院・11以上の介護施設でもご活用いただき、共通の基準作りに貢献してきました。

当院の栄養科の取り組みについてどう思われていますか？

**酒井** 入院が長期化した場合、病院は『生活の場』そのものになりますから、食事が楽しいことは生きる活力になります。

一般的な嚥下食は水分を足し作成するため量が増え、嚥下障害を抱える患者さんは食べるだけで疲れてしまうというジレンマがあります。しかし、群馬パース病院が導入している「加水ゼロ式調理法」は少量でも十分な栄養が摂れます。そして何より美味しい！本当に良い取り組みだと思っています。また、市販品に頼らず、院内調理で「温かいものは温かく、冷たいものは冷たいまま、作りたての香りを大切に届けている」その姿勢は本当に素晴らしいと感じます。

副食	常食	一口大	キザミ	超キザミ	ムース	ミキサー	ゼリー	訓練食	その他(離水食)
嚥下調整食分類2021	—	—	—	—	3	2-1	1j	0j	4
主菜									
副菜									

↑ 当院の食事形態分類と日本摂食嚥下リハビリテーション学会嚥下調整食分類2021対応表

※もっと詳しく知りたい方は、群馬パース病院のHPをチェックしてください！



病院HP(栄養科)！

POINT  
02 世代や障害を超えて、  
同じ空間で「美味しい」を共有する

— 言語聴覚科の学生も交えて

「嚥下食スイーツ」の開発が進んでいる  
そうですね。

**酒井** 元々は「嚥下食スイーツの開発」として始まりましたが、今は「誰でも食べられるスイーツ」を目指しています。人は嬉しいときも悲しいときも甘いものを食べますよね。

しかし、嚥下障害がある方や小さなお子様だけが、みんなと同じお祝いの場で同じものを楽しめたいという現実があります。離乳食期のお子様から100歳の高齢者までが、同じ美味しいものを囲んでおめでたい席を祝える社会を作りたい。群馬パース病院となら、それが達成できると考えています。



酒井 哲郎（さかい てつろう）  
1979年群馬県生まれ。言語聴覚士。総合病院勤務を経て、2023年4月より群馬パース大学リハビリテーション学部言語聴覚学科に着任。現在、同学科講師として、摂食嚥下障害や成人発声発語障害などの教育・研究に携わる。日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士、認定言語聴覚士（成人発声発語障害領域）。



↑嚥下食スイーツの桜餅



↑当院で定期的に開催している嚥下食スイーツのイベント



八木 卓（やぎ さとる）  
1985年新潟県生まれ。管理栄養士。2008年入職。2020年同栄養科科長に就任。2020年度よりムース食、2022年度より加水ゼロ式調理法を導入し、嚥下調整食の充実に注力する。2024～2025年 沼田栄養士会会長、2026年より群馬県栄養士会福祉事業部部長。医療のみならず、福祉・地域といった幅広い分野に携わっている。

**八木** 臨現場にいる私たちは、どうしても「この食材はダメ、これは大丈夫」という嚥下食を作る上で固定概念に縛られがちです。しかし、ピュアな学生たちの視点は非常に自由で刺激的です。トレンドのスイーツを取り入れた斬新なアイデアを彼らが出し、それを私たちがプロの技術でどう具現化するか、という素晴らしいコラボレーションが生まれています。

お子様からお年寄りまで、みんなが楽しく笑顔で食べられるスイーツをカタチにしていきたいと思っています。



↑嚥下食実習の授業に講師として参加



↑学生が嚥下食スイーツを試食する様子

POINT  
03 今後の展望 川場村から日本中へ、  
確かな「食の幸せ」を届ける

— このプロジェクトの今後の目的やゴールは  
どこにあるのでしょうか。

**酒井** 「誰でも食べられるスイーツ」は、パースグループの病院や介護施設等で提供することはもちろんですが、そこで満足することなく広く世の中に届けていきたいです。そのために「レシピブック」を発行し、多くの方に配付する計画を立てています。

さらに、群馬パース病院があるここ川場村の日本一の道の駅「川場田園プラザ」で試食会を開くことが目標です。道の駅を訪れた多くの人々に「美味しい！」と笑顔になってもらい、この取り組みを日本中に発信し広げていきたいですね。

**八木** 酒井先生の想いを形にするためにも、レシピをより洗練させていきたいと思っています。

また、これまでは管理栄養士の感覚に頼りがちだったミキサー食やムース食の「物性」について、大学との共同研究のノウハウを生かして「数値化」し、群馬パース大学をグループに持つ当院だからこそできる「科学的な根拠に基づいた嚥下調整食レシピ」を確立していきたいと思っています。そして、他の病院や施設など地域に情報発信していきます。



↑嚥下食スイーツの開発メンバー



このコーナーでは、看護師などのコメディカルスタッフが生活に役立つお話を皆さんにお届けしていきます！今回は、看護師と管理栄養士から話を聞いてきました！

### 夏を元気に乗り切るために！

熱中症は、野外だけではなく、室内でも発生します。特に高齢の方や小さなお子さんは注意が必要です。皆さん一人ひとりの心がけが、熱中症予防につながります。暑い日も、安全で快適に過ごしましょう！

「話を聞いた職員！」



職種：看護師

看護師が教えてくれる『熱中症対策』

### 予防のポイント

#### 水分補給



- ・のどの渇きを感じる前に、こまめに水分を補給！
- ・大量の汗をかいたら塩分も補給！（経口補水液など）

#### 暑さを避ける



- ・日陰や涼しい場所で休憩。
- ・帽子や日傘、通気性の良い服を着用。
- ・室内はエアコンや扇風機で温度調節！

#### 生活の工夫



- ・暑い時間帯の外出や運動は避ける。
- ・睡眠、栄養をしっかりとって体調を整える。

### 体調のサインを見逃さない！



めまい・立ちくらみ・吐き気・倦怠感



- ・少しでも異変を感じたら涼しい場所で休む！
- ・意識がもうろうとしたら、迷わず救急要請を！



### 合言葉は「水・休・涼」

**水** 水 こまめな水分補給

**休** 休 適度な休憩

**涼** 涼 涼しい環境づくり

汗で失われやすいカリウムとナトリウムを美味しく補給できるレシピです！

## ひんやりおいしく熱中症対策!! 塩バナナアイス

管理栄養士の

★ 栄養科だより  
簡単レシピ

「熱中症予防に」

### 作り方

- ① バナナを袋に入れてつぶす。
- ② ①に残りの材料を全て入れ、混ぜる。
- ③ 冷凍庫へ入れて、固まるまで冷やす。
- ④ 盛り付けて、完成。



### 材料（2人前）

- ・バナナ：1本
- ・豆乳：200ml
- ・はちみつ：40g
- ・砂糖：20g
- ・塩：ふたつまみ

バナナアイスの作り方は動画はこちらから



### ワンポイント

- ✓ カリウムを豊富に含むバナナに塩を加えることで、カリウムとナトリウムと一緒に補給できるのがポイントです。
- ✓ ひんやり食べやすく、暑い季節の熱中症対策、食欲がない時のおやつにもピッタリです。

「話を聞いた職員！」



職種：管理栄養士

かいごろうじんほけんしせつ ほたかそう

介護老人保健施設

武尊荘

医療法人社団ほたか会は、地域の暮らしと健康の支援をするために、多種多様な医療・介護サービスを展開しています。今回は、群馬パース病院に併設されている「介護老人保健施設 武尊荘」について、その魅力をお伝えします！

## 同じ建物内に病院がある安心

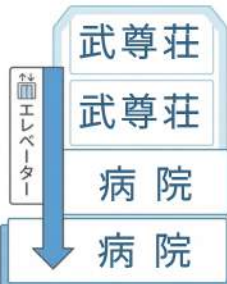


前群馬パース病院 病院長

**國元先生**による全身管理

今年度からは、國元先生が施設長に就任。

利用者様の健康を常に見守る、ご家族にも職員にも心強い体制です。



“エレベーターで2つ下りるだけ”  
のスピード対応

万が一、急に体調が変化したときも、すぐに病院での外来受診や入院治療ができるなど、直結する病院と迅速に連携が取れます。

## 専門職が支える“安心”のケア体制

～毎日の生活とリハビリを支えます～



国家資格所有率は95%以上！

国家資格を取得した介護職員が、質の高いケアと毎日の暮らしを優しく支えます。



**夜間** 看護職員配置 24時間の医療ケア

看護師・准看護師による夜間の喀痰吸引が行えるため、医療ニーズの高い方の受け入れが可能です。昼夜を問わず健康管理を行います。



リハビリ **週6回**

セラピスト（理学療法士・作業療法士）が、生活に寄り添ったリハビリを提供します。



ご家族への **支援**

ケアマネジャーや相談員も力を合わせ、ご家族の不安にも丁寧に向き合います。

武尊荘のダブル科長



介護科長 看護科長

## 笑顔をつなぐ、私たちのチームケア

～さまざまな専門職がワンチームとなってサポートしています！～

武尊荘の魅力は、豊かな自然に囲まれた穏やかな環境の中で、たくさんの専門スタッフによる手厚いケアと、万全の医療連携を受けられる安心感にあります。長年、地域のみなさまに寄り添ってきた実績が私たちの誇りです。

## 在宅介護もお気軽にご相談ください

武尊荘では、入所ケアだけでなく、住み慣れた地域での暮らしを支える在宅サポート（ショートステイ・通所リハビリテーション）も行っています。

「日中、仕事があって介護ができないのが心配……」  
「急な用事で出かけなければならないけれど、  
その間どうしよう……」

そんな時は、どうぞ一人で悩まずに武尊荘へお気軽にご相談ください。みなさまの不安に優しく寄り添います。



多職種が連携し、あなたらしい生活を支えます。



# TOPICS

群馬パース病院の2026年度に実施したイベント等のご紹介です。  
当院のホームページやインスタグラムでも情報を更新中です！



Instagram X (Twitter)

## ASOBOUSAI に出店しました！



↑イベント参加メンバーで

沼田市の「星の降る森キャンプ場」で、4月4日(土)・5日(日)の2日間にわたって開催された、「遊ぶ」と「防災」を掛け合わせたイベント「ASOBOUSAI」に参加いたしました。

当院が参加した4日(土)は、あいにくの雨模様でしたが、多くの親子連れで賑わい、イベントは大いに盛り上がっていました。

当院ブースでは、理学療法士による「親子で楽しめるリハビリ検査」を実施したほか、子ども向けのヨーヨー釣りコーナーも設置。親子で楽しみながら「健康づくり」について学んでいただく貴重な機会となりました。

## すこやかマルシェ に出店しました！



↑看護師による血圧測定などの様子

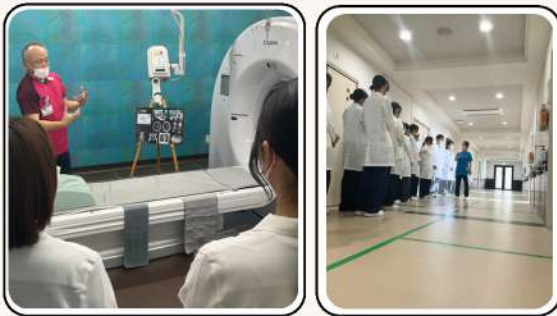
5月23日(土)にお隣の「パース公園」で開催された「すこやかマルシェ」に参加いたしました。

当院のブースでは、理学療法士による体力チェックのほか、看護師による「血圧・血中酸素飽和度測定」を実施いたしました。

会場でシャボン玉を飛ばすと、たくさん子どもたちの元気な歓声が響き渡り、ブースの周りは一気に華やかな雰囲気になりました。

パース公園でのイベントは今回初でしたが、ご来場いただいた多くの方と楽しく交流することができ、充実した1日となりました。

## 群馬パース大学 放射線学科見学実習！



↑放射線学科の見学対応をする  
当院の放射線技師長

6月1日(月)、群馬パース大学の放射線学科1年生88名が、群馬パース病院へ見学実習に来院されました。

当院の放射線技師長による案内のもと、学生たちは将来の活躍の舞台となる「診療放射線科の内部」をじっくりと見学。さらに、外来や病棟、各検査部門など、普段は見られない「病棟の裏側」、そしてそれぞれの病棟を持つ大切な役割についても深く学んでいただきました。

## 群馬パース病院 創立48周年！



↑樋口総長と幹部職員の写真撮影

6月13日(土)、群馬パース病院は創立48周年を迎え、創立記念式典を実施しました。

創設者である樋口総長より当院のこれまでの歩みや、今後のグループの構想などの講話がありました。これからも「美しく・健やかに・元気で老いる・最高の人生」という理念のもと、医療系大学「群馬パース大学」と連携しながら、質の高い医療の提供を目指し、地域へ貢献できるよう職員一丸となって取り組んでまいります。

ASOBOUSAI  
終了時のメンバー写真！  
1万回再生突破！



すこやかマルシェ  
開催前の様子！



放射線学科の様子！  
第1弾は、1.5万回再生突破中！



総長と職員  
48周年記念日お祝いの様子





# イベント情報



群馬パース病院

## すこやかサロン開催決定！

# 9.19

土



14:00～15:30



川場村生品1861

第1部：公開講座

### 「～高血圧の予防について～」

【日時】 9月19日(土)14時～14時20分

【講師】 田村達一病院長

【参加費】 無料

【場所】 群馬パース病院

詳細は随時  
HPやインスタ  
で告知します！

Coming Soon!

第2部は、看護師や臨床検査技師、管理栄養士等による健康相談会等の体験コーナーをご用意します！！



## 小学生お仕事体験



詳細は  
こちらから！

【日時】 8月8日(土)13時～15時30分

【対象】 小学校4年生～6年生

【内容】 看護と介護・リハビリの仕事の学習と体験

【定員】 各職種 先着6名(定員に達し次第、申込フォームの受付終了)

【詳細】 群馬パース病院のホームページを参照



## 群馬パース大学

### 『流星祭』へ参加！



## 群馬パース大学福祉専門学校

### 『PAZ祭』へ参加！



【日時】 10月24日(土)・25日(日)  
10時～

当院の取り組みを紹介したり、  
3Dプリンター展示等を実施予定です！



【日時】 12月12日(土)  
9時30分～14時

血圧チェックや体力チェック等  
を実施予定です！



## 群馬パース病院 インターンシップ

【期間】 8月17日(月)～8月21日(金) ※上記日程以外でも、随時受け付けております。

【対象職種】 看護師・准看護師・介護福祉士・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・  
薬剤師・栄養士・調理師

※養成校に在学中、または興味のある方。学年は問いません。

【内容】 病院・施設見学、職場体験、交流会など

【時間】 9時から16時半の1日を予定(ご希望により半日でおこなうこともできます)

応募は  
こちらから！



### 面会制限の緩和について

- ・1日1回、土曜、日曜、祝祭日も含め毎日実施いたします。
- ・面会時間は午後2時～5時です。
- ・入院患者様1名につき面会者2名のみ。  
(中学生以上のご家族およびキーパーソンの了承を得ている方に限ります)
- ・予約は不要です。  
1日1回の面会回数をお守りください。
- ・1回の面会時間は、15分間（病室入室～退室まで）

### 無料送迎サービス拡充！

他院から当院への転院や、当院から他院への外来受診の際、当院の送迎車で無料送迎いたします。必要の際は、患者支援センターにご相談ください。

こんな方も…

- ・車いす(リクライニング車いすを含む)、ストレッチャー
- ・喀痰吸引が必要な方
- ・心電図等のモニターが必要な方
- ・酸素吸入が必要な方等



問い合わせ先：患者支援センター  
直通 TEL : 0278-52-3708

### 外来診療担当医表

※ 休診日：土曜午後・日曜・祝日

※ 月～金の午後は、緊急の患者さまについては専門外来以外でも対応いたします。

群馬パース病院 代表番号：0278-52-2141

曜日 時間	月	火	水	木	金	土
9:00～ 12:30	内科 高野医師	内科 六本木医師	内科 齋藤悠医師 (群馬パース大学)	内科 伊藤医師	内科 高野医師	内科 清水医師
		消化器内科 山田医師	消化器内科 川村医師	消化器内科 川村医師	呼吸器内科 齋藤悠医師 (群馬パース大学)	脳神経外科 清水医師
14:00～ 17:00 (専門外来)	-	-	泌尿器科 昭和大医師	-	糖尿病内科 齋藤従道医師	-
					皮膚科 天野医師	
					泌尿器科 昭和大医師	

透析センター	時間	曜日	月	火	水	木	金	土
	8:30～12:30		○	○	○	○	○	○
13:00～17:00		○	○	○	○	○	○	○
健診・人間ドック	午前		○	○	○	○	○	要相談
	午後		○	-	-	○	○	-

※健診・人間ドックは予約制になります。

フォロー&チャンネル登録  
をお願いします！



Instagram



X (旧Twitter)



YouTube

### 編集後記

今号では、群馬パース大学言語聴覚学科と当院栄養科がタッグを組んで取り組んでいる嚥下調整食について特集しました。紙面の嚥下食スイーツ「桜餅」は私も試食しましたが、見た目が美しく桜の香りが広がるおいしい一品でした。学生さんからはマカロンやトゥンカロン、マリトッツォなど嚥下食として難しいメニューの提案もあり、管理栄養士が工夫を重ねています。レシピブックが完成した際には、PAZ LETTER 広報委員会！